

平成27年度 三重県商工会議所連合会 会頭会議を開催

三重県商工会議所連合会（会長：小林長久）は、平成27年10月15日（木）、熊野古道センター（尾鷲市）にて、平成27年度三重県商工会議所連合会会頭会議を開催した。

小林会長は、冒頭「県連調査の2015年上期の景況では、前期より悪化との景況感でしたが、今後の見通しは、少ないですが改善の見通しとなっている。

また、三重県では来年の5月には伊勢志摩サミットが開催され景況改善には最上の特殊事情もありますので、一層の経済浮揚効果を期待したい。

そのためにも、サミット成功に向けて経済界としての協力を皆様方にもお願いし、三重県には十分世界に誇ることができる日本一、世界一の資源があり、そうした資源を生かしていただくような提案に協力することも重要と思う」と挨拶された。

会議では、東紀州地域の実情を知るために、三重県南部地域活性化局 局長 亀井敬子氏から東紀州の活性化策の取組み、その後、(株)エムアンドエムサービス コンシェルジュ 三石学氏、(株)熊野古道おわせ 支配人 伊東将志氏から地域で活性化のために事業を行っているお二方から話を伺い、さらに尾鷲商工会議所・熊野商工会議所からも現状や取組の説明を受けた。

その後、懇談会を開催し、終始和やかな雰囲気の中、情報交換等を実施し大変有意義な会となりました。



△小林会長の挨拶



△亀井局長の講話



△三石コンシェルジュの講話



△伊東支配人の講話



△榎本会頭による管内説明



△伊藤会頭による管内説明